

昭和館 巡回特別企画展

戦中・戦後のくらし

平成30年

10/12[金]～10/23[火]

午前9時30分～午後6時

※ 初日は、9時30分からオープニング・セレモニーを行います。

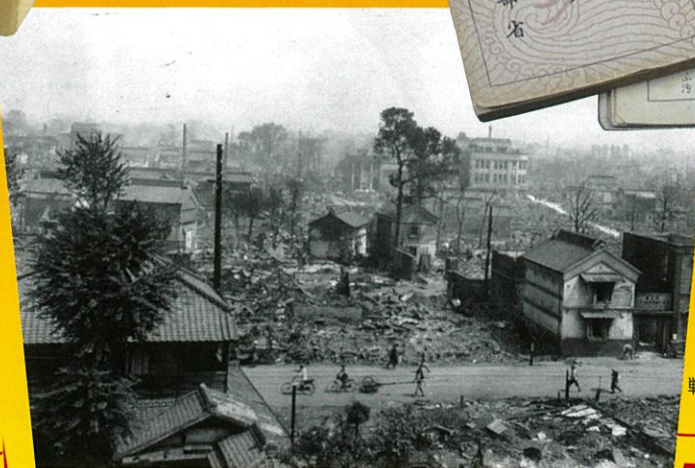
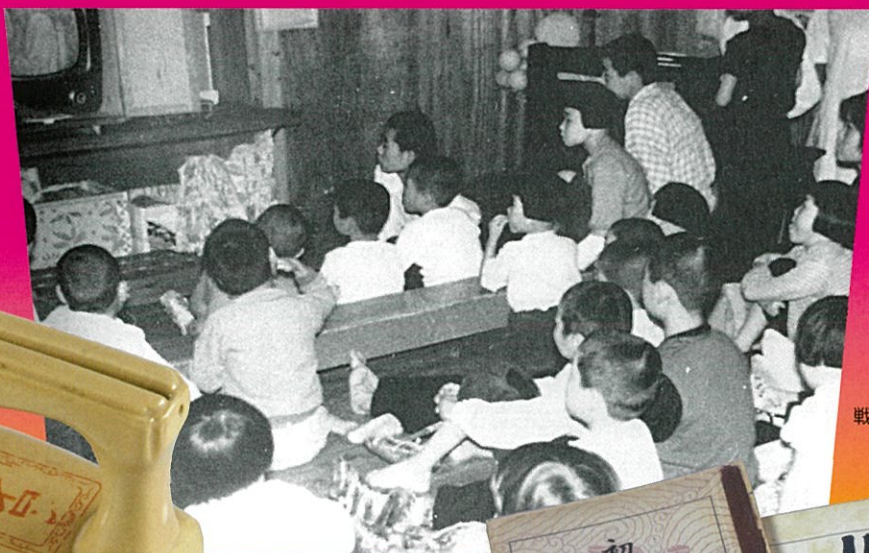
会 場:前橋プラザ元気21 にぎわいホール

所在地:前橋市本町2-12-1

群馬展



戦後:贈られたテレビに見入る施設の子どもたち・高崎市



戦中:焼け跡がひろがる前橋市内・本町付近

**入場
無料**

主催  昭和館 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575 ホームページ <http://www.showakan.go.jp>

 <https://twitter.com/showakankudan>  <https://www.facebook.com/showakankudan/>

■協賛/群馬県遺族の会および日本遺族会第2ブロック

■後援/群馬県 群馬県教育委員会 前橋市 前橋市教育委員会 上毛新聞社 朝日新聞社前橋総局 毎日新聞前橋支局
読売新聞前橋支局 産経新聞前橋支局 東京新聞前橋支局 **NHK** 前橋放送局 群馬テレビ FM GUNMA
まえばしCITYエフエム

厚生労働省委託事業



たすき (愛国婦人会桐生市分会)



出征兵士の見送り風景・高崎駅
昭和12年(1937) 上毛新聞社「目で見る群馬県民の昭和史」より

昭和館巡回特別企画展

戦中・戦後のくらし群馬展

昭和館では、常設展示室において「戦中・戦後の国民生活上の労苦」に係る歴史的資料を展示しております。

また、このような実物資料を活用した展覧会を各地でも開催してほしいという要望があり、平成13年から各地で実施してきたところ、このたび関係機関、各位のご協力をいただき、巡回特別企画展「戦中・戦後のくらし 群馬展」を前橋市において開催する運びとなりました。

本展では、群馬県の実物資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真を通じ、母や子、そしてその時代に生きた人々の様々な思いや、苦難の多かったくらしを紹介します。

(おもて写真/上)
日本ユニセフ協会から贈られたテレビに見入る群馬整肢療護園の子どもたち・高崎市
昭和28年(1953) 上毛新聞社「目で見る群馬県民の昭和史」より

(おもて写真/下)
焼け跡がひろがる前橋市内・本町付近
昭和20年(1945)8月6日
田村秀市撮影 あたご歴史資料館提供

■ 展示内容

- I 出征 ～家族との別れ～ 無事を祈る
- II 戦争が始まった ～戦中のくらし～ 1.さまざまな統制 2.戦中の子どもたち 3.空襲、そして終戦
- III 戦争が終わって 1.廃墟からの出発 2.遺された家族
- IV たくましく生きる ～戦後のくらし～ 1.戦後の子どもたち 2.復興に向けて

■ 特設コーナー

- 群馬ポスターコーナー
- 慰霊の旅 遺骨収集、慰霊巡拝

■ 交通情報

【電車ご利用の場合】
JR「前橋駅」から徒歩10分・上毛線「中央前橋駅」から徒歩5分

【バスご利用の場合】
本町バス停から徒歩1分
マイバス南循環27「坂下」から徒歩2分
マイバス共通1「銀座イベント広場」から徒歩3分

ポスター「群馬県復興宝籤」
昭和22年(1947)頃



■ 駐車場

前橋市民交流プラザ等駐車場、市営三立体駐車場(千代田、城東、5番街)、前橋中央駐車場を利用の場合に限り2時間まで無料



『戦史叢書』『陸軍・海軍部隊略歴』検索・閲覧コーナー

東京の昭和館では、4階の図書室において『戦史叢書』と『部隊略歴』を電子化し、検索端末にて情報の提供を行っております。巡回特別企画展では、本館と同様の検索・閲覧を行うことが可能です。なお、『戦史叢書』は各地の図書館に所蔵されていますが、パソコン上で検索できるシステムは当館独自のものです。

※『戦史叢書』とは、防衛研究所戦史室が編纂し、朝雲新聞社より出版された公刊戦史(全102巻)です。
※『陸軍・海軍部隊略歴』は、海軍省および厚生省(現・厚生労働省)援護局の各資料をもとに作成した陸海軍部隊の編成から行動の経歴を記しています。

学校団体(小・中・高)での見学にも対応します[要予約]

生徒のみなさんに昭和館の職員が展示解説を行います。展示解説は予約制(先着順)ですので、ご希望の学校は昭和館学芸部まで直接お申し込み下さい。

 **昭和館 学芸部**【月曜日休館】
☎.03-3222-2577

